

- 1 審議会名 上田市博物館協議会
- 2 日 時 平成24年10月27日 午前10時から正午まで
- 3 会 場 上田市立信濃国分寺資料館 講堂
- 4 出席者 阿部勇会長、滝澤純子副会長、飯島新一郎委員、小田中澄枝委員、塩入法道委員、
鶴田章委員、中村恵美子委員、野々村孝子委員、増田榮美委員
- 5 市側出席者 倉澤博物館長、尾見係長、坂部資料館長、児玉指導主事
- 6 公開・非公開等の別 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 1人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成24年10月29日

協 議 事 項 等

- 1 開 会 (尾見係長)
- 2 あいさつ (倉澤博物館長、阿部会長)
- 3 協議事項
 - (1) 議題の概要 (以下、司会進行は阿部会長)
 - H24 上半期事業経過報告について
 - H24 下半期事業予定と検討について
 - H25 事業計画 (予定) と検討について
 - その他
 - (2) 審議概要
 - H24 上半期事業経過報告について
 - (事務局) 配布資料「平成24年度事業実施状況」について各館ごとに説明。
 - (委員) 入館者数のデータは、有料と無料の別がわかるもので記載するように指摘頂いた上で、博物館とは、資料を保存する施設でもあるが、もっと人を集めることも積極的に考えるべきではないか。その一考として企画展にもっと力を入れて欲しい。
 - (委員) 古い家を壊して新築をするお宅があるが、民具 (道具) などがもしあるようなら、歴史的な資料として譲り受けることも必要ではないか。
 - (事務局) 各館の所蔵する資料を基に企画展について熟慮して参りたい。また、古い民具 (道具) については、収蔵スペースの問題もあるので、寄贈、寄託の申出があればその都度慎重に対応して参りたい。
 - H24 下半期事業予定と検討について
 - (事務局) 配布資料「平成24年度事業予定」について各館ごとに説明。
 - (委員) 丸子郷土博物館では、11月に県信濃美術館移動展が行われるが、丸子郷土博物館の入館者が極めて少ない。地域性を生かして養蚕、蚕糸に特化した講座や企画展を開催してはどうか。丸子郷土博物館の近くには、現在も糸を紡ぐことができる方も3~4人いらっしゃるの、実演を兼ねた講座もできると思う。
 - (委員) イギリスやフランスの博物館には、大勢の子供たちが来館する。子供たちが興味を持てる展示が必要。先ほど、児玉先生に資料館の特別展を解説していただき、非常に面白かった。幼い子供からお年寄りまで、ここに生きた先人たちの様子には興味があるはずなので、そうしたことも踏まえて展示や講座の開催を心がけて欲しい。
 - (事務局) 各館の特色を活かした展示や講座を心がけて下半期の活動を行っていきたい。

H25 事業計画（予定）と検討について

- （委員） 出前講座をもっと増やすことはできないか。
- （事務局） 年度当初に市内の小中学校へ案内を出しているが、学校のカリキュラムに組み込める学校とそうでない学校とバラつきはあるものの、本年度は 15 校から要請があり実施した。
- （委員） 観光課との連携は取っているのか？
- （事務局） 観光課とは、密に連携をしている。
- （委員） 先日、小諸市へ行く機会があり、多くの観光ボランティアが活躍されている姿があった。集客という点では、博物館だけの話ではなく、市全体がどのような考え方をするかによって大きく変わるのだと思う。上田市も各課の垣根を取っ払って市全体で取り組んで欲しい。
- （委員） 市長にも参加していただいて、博物館に関係する職員が一堂に会するような大きな会議を開いて意見交換をすることを望む。
- （委員） 観光課と委員で話ができる場を設けるべきではないか。
- （委員） しなの鉄道の駅や人の多く集まる場所（例えば大型ショッピングセンター）にもポスターなどを掲示していただいて、PR することも大切だと思う。
- （事務局） 来年度の事業については、予算編成前なので具体的な企画展や講座の細かい内容は未定であるが、各事業について改めて内容を精査したいと考える。
また、市長にも参加いただくような大きな会議については、教育委員会ともよく協議をさせていただくとともに、各館のPR方法についても検討をしていきたい。

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1 週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。